

〈京都福祉まつりの意義〉

1978年(昭和53年)を第1回の始まりとする「京都福祉まつり」は、国連の提唱で始まった“国際障害者年(1981年)”以前から開催されている草の根の取り組みです。

「京都福祉まつり」は、当時、車いすと仲間の会などが中心となって、開催地域の学校や町内会、婦人会、老人クラブなどの方々にも「京都福祉まつり実行委員会」に参加して頂き、京都福祉の風土作り委員会(現在は解散されている)、京都府・京都市、府市社協、京都新聞社会福祉事業団などの後援を得て、障害を持つ人たちの地域での生活を啓蒙し、福祉の芽を育て広げる目的をもって開催されてきました。

それまでの福祉のあり方は、いろいろな所で行われるイベントに、そこに住む障害者がいつもお客様として招かれるだけで、企画や準備の段階に障害者が直接参加することは全く考えられていませんでした。

「京都福祉まつり」の大きな特徴は、障害者自身が多くの人々の協力を得ながら、イベントの企画や準備を行い、地域の方々と一緒になってお祭りを作り上げ、住民をお客さんとして招いてきたことです。

障害者の幅広い社会参加への道のりはまだまだで、今後も地道にこの活動を続けていく必要があります。

京都の中で、“福祉のまちづくり”をより一層推進していくために、京都福祉まつりへのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

第40回京都福祉まつり実行委員長 宇田隆

〈第40回 京都福祉まつり開催要項〉

《目的》

この「福祉まつり」は、障害者、地域住民、特に子供たちとの交流に焦点を当て、幼い頃からのふれあいを通じて、みなそれぞれが同じ人として尊い命を持つものであるという仲間意識を育て、ともに生きる社会のあり方について啓蒙し、理解を深めていくものです。

今日までの障害者に対する差別や偏見は、健常者中心の社会において「障害者は役に立たない、かわいそうな人」といった意識によるもので、容易に変わるものではありませんが、障害者自身の力で福祉まつりの企画を立て、周囲からの協力を得ながら作り上げていくことによって、共生社会の実現に一歩ずつ近づけていくことをねらいといたします。

今回は、鉾立公園（京都府京都市南区上鳥羽鉾立町）を会場として、地域とのつながりを広げる中で福祉まつりを多彩にしていくこととします。

《日時》

2019年10月20日（日）11時00分～15時30分

《開催場所》

鉾立公園（京都府京都市南区上鳥羽鉾立町）

《主催》

第40回京都福祉まつり実行委員会

《後援》

京都府、京都市、京都府社会福祉協議会、京都市社会福祉協議会、
公益財団法人京都新聞社会福祉事業団 ※申請中を含む

《協力》

京都室町ライオンズクラブ、株式会社ティー・エム・ティー、トヨタカローラ京都、アウル洛南ラグビーフットボールクラブ、三笑堂、京都市地域・多文化交流ネットワークサロン、日本自立生活センター、日本自立生活センター自立支援事業所、日本自立生活センターワークス共同作業所、車いすと仲間の会

《事務局》

第40回京都福祉まつり実行委員会

所在地）京都市南区東九条松田町28 メゾンガラス京都十条101

日本自立生活センター気付

電話）075-671-8484 FAX）075-671-8418

Eメール）jci1@cream.plala.or.jp